

〔長久手町業務評価票：平成16年度業務〕

課係NO・業務NO	- .	総合計画	4 - (9) -	国際交流事業の充実
担当課・係名	万博推進室 万博 係【問合せ・質問等の先(内線番号)			302番】

業務の名称	万博サテライト事業																																													
(1)根拠法令・条例	なし																																													
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>30%</u> (系の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>469</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>0</u> 人・日)																																													
(3)事業費 (人件費分を除く)	<u>71,223</u> 千円(平成16年度決算)																																													
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u>0%</u> (平成16年度実績)																																													
(5)業務期間	開始した年度	平成15年度	終了(予定)年度	平成17年度																																										
(6)業務の概要																																														
業務目的(達成目標)	万博来場者と長久手住民の交流による相互理解の促進																																													
業務が対象とする住民(地域、層)	長久手町住民、万博会場への来場者、長久手温泉への来場者																																													
業務の具体的な実施内容・方法 (平成16年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> 万博サテライト事業イベント実施計画策定発注、協議、調整。 長久手町・ワートルロー市共同館の建設工事発注、監督。 万博サテライト会場整備工事発注、監督。 万博サテライト会場運営準備として、協議、調整。 万博サテライト会場でのイベント実施準備として、出演依頼、協議、調整。 開会式、オープニングイベントの開催。 																																													
業務の実施結果 (平成16年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> 万博サテライト事業イベント実施計画に基づいて、計画的に事業を実施した。 市民参加の事業展開ができるように、住民団体に出演交渉し、依頼した。 																																													
	【業務結果の説明指標】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> <th></th> <th>22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>市民団体の参加数(グループ数)</td> <td></td> <td>40</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>イベント開催延べ日数</td> <td></td> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					結果の説明指標		15年度	16年度	17年度		22年度	1	市民団体の参加数(グループ数)		40				2	イベント開催延べ日数		8				3							4							5					
結果の説明指標		15年度	16年度	17年度		22年度																																								
1	市民団体の参加数(グループ数)		40																																											
2	イベント開催延べ日数		8																																											
3																																														
4																																														
5																																														
業務の成果(業務目的の達成状況) (平成16年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> 市民団体が多数出演し、来場者の交流が繰り広げられた。市民参加の万博の理念を具体化した事業として、好評であった。 																																													
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果の説明指標</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> <th></th> <th>22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果の説明指標		15年度	16年度	17年度		22年度	1							2							3							4							5					
成果の説明指標		15年度	16年度	17年度		22年度																																								
1																																														
2																																														
3																																														
4																																														
5																																														

(7) 遂行上の問題点、取組課題

万博サテライト会場及びサテライト事業を、町内外に広くPRし、多数の来場を促すための方策を検討する。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

なし

(9) 業務の評価

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	5点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、最適であったか。	3点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して最適であったか。	4点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	4点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	5点
		平均 4.0点

(10) 総合評価

今後の方向 (該当番号に○印)	<ul style="list-style-type: none">1. 前年度と同じく、そのまま継続する。2. 見直して継続（業務の拡大）3. 見直して継続（業務の縮小）4. 見直して継続（方法の改善）5. 見直して継続（他業務と統合）6. 廃止する。7. 休止する。
評価理由	万博サテライト事業は、平成16、17年度の継続事業であり、大筋としては、そのまま継続することが適切であるため。

(11) 今後の改善方針

広報、PRなどの方策の検討。